田原市制10周年
広報たはら

Tahara

田原市ホームページ http://www.city.tahara.aichi.jp

2013
平成25年
12.15

やさしさと ぬくもりに包まれて！

目次

「しみんの広場」 2
広報サポーターだより「新三河田原駅」 4
今月の渥美半島の花
地域の話題
市民活動を応援するページ
連載コーナー 8
おしらせ 10
歴史探訪クラブ 12

しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

●探検！「三河田原駅新駅舎」……2ページ
●今月の渥美半島の花……3ページ
●地域の話題（田原南部校区）……4ページ
●市民活動を応援するページ……5ページ

市民発！

広報サポーターだより

探検！『三河田原駅新駅舎』

皆さん、こんにちは。広報サポーターの大久保ゆりです。新しい三河田原駅が完成しましたね。駅といえば、電車に乗る時以外行くことがないと思っていませんか？新しい駅舎は、いろいろな使い方ができます。今回は新しい駅舎の新しい使い方についてご紹介します。

●２階から電車を眺める

●田原市の航空写真

●三河田原駅全景

●２階ミーティングスペース

新三河田原駅は、世界的にも著名な安藤忠雄建築研究所によるもので、歴史のまち田原になじむシンプルかつモダンな建物です。

駅舎内には、田原市交流ひろばがあります。ここは、情報スペースとなっており、大型モニターで田原市の情報をみることや、オープンスペースで作品の展示やミニイベントを開催することができます。市民活動の発表の場として、皆さんぜひご活用ください。

また、床には田原市の航空写真が大きくプリントされており、観光スポットなどを探すのに便利です。

階段を登って２階に行くと、テーブルと椅子が並んでおり、明るく過ごしやすい空間になっています。

２階のミーティングスペースは、商工観光課に申し込むと貸し切ることができ、39インチモニターも使用できます。

貸し切りでなければ、だれでも自由に利用できますので、お子さん連れでお弁当を食べたり、友達とおしゃべりしたり、楽しいひとときをお過ごしください。

※詳しくは、商工観光課にお問い合せいただくか、市ホームページをご覧ください。

▼商工観光課
☎23局3522 FAX22局3817
HP http://www.city.tahara.aichi.jp/

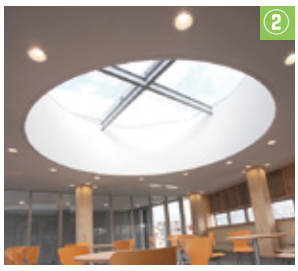
広報サポーター
大久保　ゆり
（田原中部校区）

※田原市広報サポーターの部屋

●田原市ホームページ
http://www.city.tahara.aichi.jp/
●ブログアドレス
http://kohotahara.dosugoi.net/
●ツイッターアドレス
http://twitter.com/#!/kohoTahara

新駅舎のお・も・て・な・しポイント

2階東側にある木の引き出しを開けてみてください。子どもが電車をみるための踏み台がでてきます。この踏み台は、椅子にも早変わり。靴を脱いで乗ってくださいね。電車の発着風景が見える2階のスペースは子どもたちの人気スポットになるでしょう。



階段を登っていく途中、天井を見上げると空が見えます。天井に大きな丸いガラスがはめられており、晴れた日には太陽の自然な明かりが空間を満たしてくれます。

太陽の暖かな光の中、思い思いの時間をお過ごしください。

南側に安全に電車を見られるスペースがあります。電車の写真を撮る人や、電車を見る保育園の子どもたちが集う場所です。ここの後ろに広がるロータリーには、たくさんのベンチが設置されています。ゆっくり過ごしていってくださいね。

図書館の本が駅でも返せるようになりました。交流ひろばにある大きな白いポストに図書館で借りた本を入れると定期便で回収され、図書館に運ばれる仕組みになっています。本以外に視聴覚資料を入れても大丈夫ですよ。

駅長コメント
市民の皆さんに愛される駅に育てていきたいです。
皆さんのお越しをお待ちしております。

1月 今月の渥美半島の花～リシアンサス～

リシアンサス（切花／出荷時期：10月～7月）

【花言葉】…優美、希望、よい語らい

北米原産のリンドウ科の一年草です。別名トルコギキョウとも言われますが、トルコが原産ではなく、花色や花の形から連想されるイメージにより、そう呼ばれるようになりました。日本では特に品種改良が進み、当初は青紫色だけだった花色も現在は白、黄色、ピンク、ブルーとバラエティー豊富です。また、花形も一重咲き、八重咲き、フリンジ、バラ咲き、スプレー咲きなどさまざまな種類がありひと目見ただけでは同じ花とは思えないほど変化に富んでいます。田原市では年間約220万本生産されており、県内1位の生産量を誇っています。

◉お詫びと訂正
広報たはら11月15日号の「今月の渥美半島の花」に誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。
正：寒さに強い原種から生まれたもの
誤：寒さに原種から生まれたもの

▲園児たちによる踊りの発表

▲地域住民同士が協力し合って市民館まつりの準備を行いました

地域の話題

田原南部校区『祭り』で深まる地域の絆

各種行事を工夫して新しい住人との融和に取り組む 田原南部コミュニティ協議会からお便りが届きました。

田原南部コミュニティ協議会では、校区まちづくり推進計画の基本方針として

①安心して暮らせる地域
②住民の参加による活力ある地域
③子供から高齢者まで共生する地域
④緑豊かな自然を残す地域

をつくることを掲げています。

コミュニティの輪を広げるために

基本方針に沿って地域づくりを進める中で、「新規住民の受け入れ体制」が一つの課題・目標となっています。『グリーンタウン大久保』の宅地分譲が始まり（101区画）、新しく住民となった方々に、自治会活動の理解と協力をいただけるように取り組んでいます。

まずは新規住民に地域を知ってもらおうと、南部校区合同運動会・環境美化活動・大久保オープンゴルフ大会・夏まつり・高齢者慰問・敬老会、そして田原南部校区市民館まつりなどの行事へ、参加を呼びかけています。

今年も大いに盛り上がる！

こうした中、10月19日（土）に、「田原南部校区市民館まつり」を開催しました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、老若男女問わず多くの方が参加され、大変にぎやかなものとなりました。市民館2階の会場では、ステージで「カラオケのど自慢」や「ダンスパフォーマンス」などが披露され、観客から大きな拍手を浴びていました。素敵な発表をした参加者へ、おひねりが飛んだほか、ステージ上から観客の子どもたちへあめを配るなどしていました。

●作品展示コーナー

●満席のステージイベント

『祭り』を通じて地域づくり

今後も、各種行事により、住民の絆がより深まるよう、地域づくりに取り組んでいきます。

●市民館まつりの出店は子どもたちに人気

市民活動を応援するページ

市民のチカラ

市民活動紹介

まつぼっくりの会

～地域に伝わるお話を子どもたちに～

●田原市市民協働まちづくり事業補助金採択事業

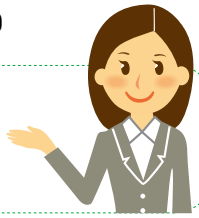
▲子どもたちに読み聞かせを行う様子

泉小学校での読み聞かせボランティアをきっかけに、平成12年に生まれた団体です。それから13年間、10人前後のメンバーが交代で隔週の水曜日の朝、1年生から4年生までの教室で読み聞かせを行っています。会員のささやかな願いは、読み聞かせの時間がもう少し長くなることです。

また、地域に伝わるお話を紙芝居にして、子どもたちに伝える活動も行っています。平成15年度には、泉地区に伝わるお話『膳貸し岩』を紙芝居にしました。今年度は、2作目の紙芝居『永久丸の男たち』の製作に取り組んでいます。来年春の完成後、子どもたちに見てもらえるのが楽しみです。

読み聞かせや紙芝居製作を通じて、子どもたちがお話に触れる機会を提供する活動を、一緒に楽しみながら続けていきたいと思っています。

お問い合わせ　代表　渡辺尚子　☎37局0030



市民協働まちづくり事業補助金（事業費10万円未満）は、平成26年1月末日まで申請を受け付けています（予算の範囲内）。市民活動団体の皆さん、ぜひご利用ください。
詳しくは田原市民活動支援センターホームページをご覧ください。

イベント紹介

第7回どすごい交流会in新城

～東三河がわかる！市民活動の交流イベント！～

東三河5市（田原・豊橋・豊川・蒲郡・新城）で活動する市民活動団体が集まり、交流を深めるイベントを開催します。もちろん一般の方にもご参加いただけます。映画「奇跡のリンゴ」のモデルである木村秋則氏による講演会や東三河のご当地クイズが行われます。

ぜひお誘い合わせの上、ご来場ください。

▲イベントの告知チラシ

日　時　平成26年1月26日（日）13：30～15：45

場　所　新城文化会館展示室（新城市字下川1-1）

内　容
- 講演会「『奇跡のリンゴ』栽培にかけた思い～生きがいをもって暮らすためのヒント～」　講師／木村秋則氏
- どすごいネット天才クイズ（★景品あり）

定員・参加費　定員＝100名（先着順）／参加費＝無料

申し込み方法　どすごいネット（http://genki365.net/gnkh02/pub/index.php）にある申込み用紙に必要事項を記入のうえ、田原市市民協働課へ提出。またはＦＡＸ・Ｅメールにて市民活動支援センターへ提出。（電話でのお申し込みは、氏名・電話番号をお伝えください）

同時開催　しんしろ軽トラ市＠新城駅前中央通り商店街（主催／新城市商工会）9：00～12：30
軽トラの荷台がお店のユニークな市場です。こちらにもぜひお越しください。

田原市民活動支援センター

HP http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/

1 ＮＰＯや市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週火・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）
2 このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。
◉お問い合わせ：☎22局1111（内線812）※開設時間のみ FAX 23局0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

スクールリポート

SCHOOL REPORT 63
学校生活の一コマを紹介

今回は、小学校での「運動会」のひとこまをご紹介します。

●学校教育課☎23局3679

神戸小学校「神戸っ子ソーラン」
受け継ぐ心と育つ心！！

特色ある学校づくりの一環として、7年前から始まった「神戸っ子ソーラン」。今や、神戸小の伝統になりつつあります。昨年度末に6年生が5年生へ、5年生が4年生へ引き継ぎをし、本年度に入ってからは体育の表現の分野で学習を進めてきました。

9月14日（土）の運動会では、高学年が学習の成果として、神戸っ子ソーランの集団演技を披露しました。神戸小の伝統を感じながら踊る子どもたちの指先やつま先、体全体から、高学年としての誇りと「神戸小を立派にするぞ、俺たちに任せろ！」「次は俺たちの番だ！がんばるぞ！」という意気込みが伝わってきました。特に6年生の目力には感動し、心が震えました。

こうして、神戸小のよき伝統が受け継がれていきます。今年の4・5年生も、6年生の背中から神戸っ子ソーランを踊る意義を受け継ぎ、ソーランの練習を始めます。受け取った気持ちをどう表現するか、どう受け渡していくか、今から楽しみです。

●真剣なまなざしで踊る高学年

●指の先まで気持ちを込めて

●全員で泉音頭を踊ります

●熱戦を繰り広げた大玉おくり

泉小学校「保小中合同運動会」
泉のみんなが一つになって

9月14日（土）、青空の下、保小中合同運動会が行われました。この運動会は、子どもだけでなく、自治会や老人会も参加する、まさしく「泉のみんなの運動会」です。

「泉音頭」では、和太鼓を中心にいく重にも輪をつくり、みんなで踊りました。「ソーレヤレヤレ　ヤットコセヤットコヤレソレ」という節回しが独特です。今年は、うちわが配られたり、法被で踊る人が増えたりと、一段と盛り上がりを見せました。

「大玉おくり」では、小中学生と自治会の皆さんで一つのチームを作り、紅白に分かれて競いました。今年からゴム製の大玉に替えました。大人の人が、大玉をタイミング良く押すと、ブヨーンと10m近くも弾みました。勝負は、1勝1敗からの3回戦も同着の判定で、延長戦へともつれ込みました。

真剣勝負の中にも、笑顔の絶えない、泉のみんなが一つになった運動会でした。

Tahara City News
たはらシティニュース

11月

共助の精神で家族・地域を守る
11月9日[土]

田原市自主防災会一斉防災訓練が市内全域で行われ約1万3000名が参加しました。訓練を通して地域防災力の向上や、防災意識の高揚を図ることを目的に行われたこの訓練。当日は、各自主防災会がそれぞれの地域の特徴に合った訓練を行いました。

▲消防団員に消火（放水）の仕方を学ぶ参加者たち

次世代に引き継ぐ福祉の心
11月10日[日]

福祉のつどいが田原市総合体育館などで開催されました。日ごろのボランティア活動を広く知ってもらおうと、福祉関連ブースが多数出展されました。また、外国人タレント、ダニエル・カール氏の記念講演会も行われました。

▲「～がんばっぺ！オラの大好きな日本～今できること」と題し、講演を行うダニエル・カール氏

交通マナーの手本熟練の技を披露！
11月11日[月]

交通安全高齢者自転車愛知県大会（愛知県名古屋市「11／7」）に出場し、見事優勝した童浦校区チームが市長を表敬訪問しました。出場した皆さんは「日ごろの練習の成果がでてよかった」と喜びを語りました。

▲太田俊一さん（左から1人目）、斎藤琇孝さん（同2人目）、大谷豊身さん（同4人目）、森口要さん（同5人目）、三浦幸子さん（同6人目）

広がる未来へ 91

たはらエコ・ガーデンシティ構想

◉世代を超えて引き継ぐ地域づくりを目指して！

田原中学校では、毎年3年生が、「たはらエコ・ガーデンシティ構想」について学習しています。今年は左表の日程で行われました。

9月10日（火）は、学年全員で「たはらエコ・ガーデンシティ構想」の概要を学び、10月29日（火）と11月5日（火）は、クラスごとに、関連施設の見学や作業体験などを行いながら、各プロジェクトについて理解を深めました。

●田原中学校３年生の学習内容

クラス	内　容	
	9／10	10／29・11/5
A組	全体研修	コンパクトシティプロジェクト
B組		資源循環プロジェクト
C組		省エネルギー推進プロジェクト グリーン・ネットワークプロジェクト
D組		菜の花エコプロジェクト
E組		エコ・インダストリープロジェクト エコ・エネルギー導入プロジェクト

未来を担う子どもたちが、この学習を通じて自分たちの住む地域を知り、基本理念として掲げる「環境と共生する豊かで持続する地域づくり」に貢献してくれることを期待しています。

●汐川干潟の観察

●低炭素モデルハウスの見学

◉たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2518人・事業所90カ所（11月末現在）

▼エコエネ推進課
☎23局7401 FAX23局0180
HP http://www.city.tahara.aichi.jp/

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん 18

ゴミゴミンとリサイクルレンジャー

道ばたや空き地に、空き缶や古い家電品などが捨てられているのを目にした事はあるでしょうか。今回は、このような不法投棄の現状についてお知らせします。

◆不法投棄は法律で禁止されています

不法投棄は周囲の景観を損なうほか、重金属のような有害物質による土壌汚染など、環境にも大きな影響を与えます。不法投棄は法律によって固く禁じられており、違反すると重い罰則がかかります。

◆まずは未然に防止を

市では、職員によるパトロールや警告看板の配布といった対策事業を行っていますが、根本的な解決のためには、投棄されにくい環境づくりが不可欠です。

●土地の適切な管理を心掛ける

雑草が生い茂っているなど、管理が行き届いていない土地では、不法投棄が行われやすくなります。定期的に草刈りや清掃を行い、きれいな状態を維持しましょう。

●看板を設置する

何度も不法投棄されている場合は、捨てやすい場所と認識されている恐れがあります。警告看板を必要とされる方は清掃管理課へご連絡ください。

市役所では私有地に不法投棄されたごみを回収する事ができません。捨てた人が判明しない場合は、土地の所有者が回収の責任を負う事になります。

◆不法投棄を見かけたら

不法投棄されたごみを発見した場合は、清掃管理課へご連絡ください。

その際、発見日時や具体的な場所、投棄された物の種類などをお知らせください。

不法投棄をしない・させない環境づくりのため、みなさんのご協力をお願いします。

▼清掃管理課
☎23局3538 FAX23局0180
HP http://www.city.tahara.aichi.jp/

交流通信
Exchanges communication
～国内外との交流・多文化共生～

友好都市　中国・昆山市から
中学生が田原市を訪問

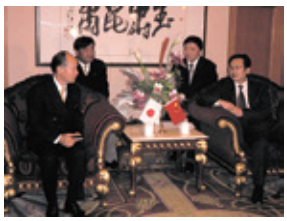
◆ホームステイで、日本の家庭生活を体験
10月17日（木）から19日（土）にかけて、田原市の友好都市である中国・江蘇省昆山市から中学生8名と引率者4名が田原市を訪問しました。生徒たちは市内の中学生の家庭にホームステイをし、家庭生活や学校生活を体験するなど、田原市での滞在を楽しみました。

▲社会科の授業を一緒に受けている様子

昆山市とは、中学生海外交流（派遣・受入）のほか、行政関係者の相互派遣、市民訪問団の派遣などを通じて、交流を深めています。

◆昆山市はこんなところ
昆山市は、中国東部の江蘇省にあり、上海から北西に約50kmのところに位置し、人口は約73万人で、台湾企業や日本企業をはじめとする多くの外国企業が進出している大都市です。三国時代の呉の中心地でもありました。昆山市内にある周荘は、古い町並みが残る水郷として、観光スポットとなっています。中国を代表する演劇「京劇」の原点「昆曲」は、昆山市が発祥の地といわれています。

◆交流のきっかけ
平成5年に旧赤羽根町と昆山市が友好都市の協定を結び、それを引き継ぎ、平成17年に友好都市の再調印を行いました。


▲昆山市での再調印式

みんなで取り組む防災・減災

けんちゃんの 防災知恵袋 32

災害時要援護者支援制度

災害時要援護者に対する支援制度を紹介します。

◆支援が必要な人は
災害時に大きな被害を受けやすい、高齢者や障がいのある人、乳幼児、妊娠している人などです。

◆どんな支援制度か
支援を希望する人の情報を管理台帳に登録しておき、支援をしてくれる機関と情報を共有します。

住所・氏名などの基本的情報のほか、高齢・障がいなどの種類、緊急連絡先、地域支援者などを登録します。

◆登録対象者は
○要介護（3～5）の人
○身体障害者手帳（1～2級）の交付を受けている人
○療育手帳（A）の交付を受けている人
○精神障害者手帳（1級）の交付を受けている人
○高齢者（65歳以上のひとり暮らしおよび65歳以上のみの世帯）の人
○その他支援を必要とする人

◆情報を提供する先は
校区・自治会・自主防災会・民生児童委員・社会福祉協議会・地域支援者で、提供する情報は台帳に記入された内容です。また、医療情報については、消防署へも提供し、緊急時に活用します。

◆支援内容
災害に関する情報のお知らせや、災害時の避難の手助けをします。

また、普段からのご近所付き合いや、各地区の防災訓練への積極的な参加を促します。

◉まだ登録していない方は、自分の身を守るためにぜひ登録しましょう！

▼防災対策課☎23局3548
HP http://www.city.tahara.aichi.jp/

おしらせ INFORMATION

募集 WANTED

パソコン教室　受講生

▼コース／期日／時間＝表のとおり　▼受講料＝無料　▼定員＝各18名（先着順）　▼場所＝渥美文化会館視聴覚室　▼申し込み＝12月24日から、直接または電話・Eメールにて（Eメールの場合は、住所・氏名・電話番号・生年月日・希望コースを明記）　▼その他＝iPad教室はiPad持参

▼生涯学習課
☎23局3531
FAX 22局3811
E shogai@city.tahara.aichi.jp

■パソコン教室

コース	期日（平成26年）	時間
パソコン初心者教室	1／28火～2／1土	19:30～22:00
iPad初心者教室	2／4火・5水	19:30～22:00

生活 LIFE

胃・大腸・乳・子宮がん検診の無料受診は1月末まで

がんは早期発見、早期治療が大切です。今、元気なあなただからこそ、がん検診を受けましょう。

▼期間＝平成26年1月31日（金）まで　▼場所＝市内指定医療機関もしくは検診車　▼持ち物＝受診券（5月中旬に郵送済）　▼費用＝無料　▼その他＝受診券を紛失された場合は再発行しますので、お問い合わせください。

▼健康課（市役所内）☎23局3515
▼健康課（あつみライフランド内）☎33局0386

下水道を正しく使いましょう

下水道は、私たちの家庭などから出る生活排水をきれいにして川や海に戻し、快適な生活環境をつくるとともに、海や川を汚染から守るための施設です。

◆下水道を使える区域でまだ接続をしていない方は、接続にご協力ください。

下水道施設へ異物が流入すると、故障の原因になり、適切な汚水処理ができなくなります。

◆水洗便器に、トイレットペーパー以外のものを流さないでください。

▼下水道課
☎23局3525 FAX 22局3184

入札参加資格の定時申請の受付が始まります

平成26年度および平成27年度に、田原市が発注する建設工事、業務委託、物品購入などの入札に参加を希望される業者の方の定時申請の受付が始まります。

▼受付期間＝平成26年1月6日（月）～2月17日（月）　▼申し込み＝インターネットを利用した電子申請による登録となりますので、ICカード登録などの準備をお願いします。申請方法などに関する詳細については、市ホームページをご覧ください。

▼契約検査課
☎23局3505 FAX 23局0180
HP http://www.city.tahara.aichi.jp/section/keiyaku/

お気軽にご利用ください「消費生活相談室」

相談員が、法律の専門家である弁護士、司法書士の利用の仕方などをアドバイスします。一人で悩まずご相談ください。

▼日時＝毎週金曜日／午前10時～正午（祝日の場合は休室）　▼場所＝田原文化会館（フリースペース）　▼相談料＝無料　▼申し込み＝当日、受付にて（予約不要）　▼相談員＝本多ちえ子・杉原眞由美・小笠原香代子・中川公子・渡会雅代

▼商工観光課
☎23局3522 FAX 22局3817

医療費の助成制度

田原市では、さまざまな医療費自己負担分を助成する制度を設けています。

まだ申請されていない方はお問い合わせください。

◆後期高齢者福祉医療費助成

後期高齢者医療制度の被保険者で次のいずれかに該当する方に、後期高齢者福祉医療費受給者証を交付しています。

◎対象

【障害者】次のいずれかに該当する方①身体障害者手帳1～3級、じん臓機能障害4級、進行性筋委縮症4～6級の方②療育手帳A・B判定の方③精神障害者保健福祉手帳1・2級④自閉症状群（診断書が必要）

【ひとり暮らし】次のすべてに該当する方①単身で生活を営んでおり、同一敷地内に親族が住んでいない方②市町村民税が非課税の方③親族から金銭的援助を受けていない方④親族の税の扶養親族に入っていない方

【ねたきり・認知症】介護保険の要介護4または5の認定を受けていて3か月以上要介護状態が継続している市町村民税非課税世帯の方

◆母子家庭等医療費助成

次のいずれかに該当する方で、父母の前年の所得が表の所得制限額以下の方に、母子家庭等医療費受給者証を交付しています。

▼対象＝①母子家庭（父に重度の障害がある家庭を含む）の母および児童②父子家庭（母に重度の障害がある家庭を含む）の父および児童③父母のいない児童

※いずれも児童が18歳に達した日の属する年度の末日まで

◆精神障害者医療費助成（入院）

▼対象＝精神疾患で入院している方

▼助成額＝入院時の自己負担額（保険適用分）の半額（精神障害者保健福祉手帳1・2級をお持ちの方は全額）

▼保険年金課

☎23局3514 FAX23局0180

■母子家庭等医療費助成の所得制限額

扶養親族数	所得制限額
0人	192万円
1人	230万円
2人	268万円
3人	306万円
4人目以降の加算額	38万円

風しんワクチンの接種はお済みですか？

今年度、先天性風しん症候群の発症対策として、予防接種費用の一部助成を行っています。現在、妊娠を予定または希望する年代で風しんにかかったことがない方や過去に予防接種を受けていても抗体が低い方は、この助成をご活用ください。

◆助成事業の背景

①20歳代から40歳代の男女は、抗体を持っていない人が多く、風しんにかかりやすい。

昭和54年4月2日から平成7年4月1日の間に生まれた男女の接種率が低かったことが問題となっています。

また、昭和54年4月1日以前に生まれた男性は、子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした。

②先天性風しん症候群の発症をなくす。

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなどの病気になってしまう場合があります。

◆抗体の有無について

抗体を確認したい場合は、抗体価検査が有効です。現在、この検査については助成がありませんが、医療機関での検査により抗体が確認されたら、予防接種をする必要はありません。

◆妊婦は予防接種の対象外

妊婦は、予防接種を受けられません。妊婦の夫を中心とした身近なご家族で抗体検査を含めた予防接種についての検討をお願いします。なお、女性は接種後2か月間の避妊が必要です。

▼対象＝市内に住所がある方で、妊娠を予定または希望している女性、およびその夫（妊婦の夫を含む）

▼期間＝平成26年3月31日（月）まで ▼接種場所＝市内指定医療機関

▼助成金額＝【麻しん風しん混合ワクチン】5000円【風しん単抗原ワクチン】3000円 ▼助成回数＝1回 ▼申し込み＝直接（健康課にて予診票を発行）

▼健康課（市役所内）

☎23局3515 FAX23局3810

▼健康課（あつみライフランド内）

☎33局0386 FAX33局0319

歴史探訪クラブ

其の153

History Inquiry Club

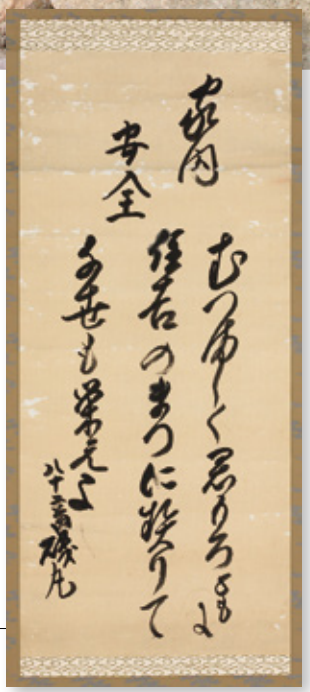
文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

人々に愛されて　糟谷磯丸2

なぜ、磯丸は「村人の心を支え、笑顔を咲かせた漁夫歌人」といわれたのか。彼の残した歌にその理由が隠されています。特に、当時の人たちに人気が高かったまじない歌のタイトルは、庶民の日常のくらしの縮図です。

水不足、家内安全、災難よけ、病気（風邪、眼、歯、はしか、かんの虫、しゃく、水虫、婦人病、腰痛）、害虫・獣駆除、お祝い、悩み、土地の境界、いのしし除け、安産、母乳、出世などの悩みや願いが歌われています。庶民が神に祈るような切実なものから、日常会話の中で生まれたちょっとした気になることまで、実に幅広い内容です。人々は困った揚げ句、磯丸の歌に頼ってきたのです。そして磯丸は頼まれるがまま、歌に詠んでいます。

磯丸の歌に願いをかなえる力があると信じられたのも、次のような理由があるのです。「絶望視された母の病気が治った」「歌を詠み始めてから宮中や殿様に招かれるまでになった」「村の大火の折にも磯丸の家だけが焼けなかった」という人々を驚かす三つの事実があったからです。そこに都市伝説のような話が加わり、磯丸の神秘性はますます高まっていきます。



▲【上】磯丸の歌碑（いのりの磯道／伊良湖町）
【右】まじない歌（家内安全）

しかし、磯丸本人は、それは伊良湖神社の明神のおかげだとますます信心を深めます。そんな世間の評価も気にすることなく、マイペースで人々の頼みに気軽にこたえていくのです。医者でも心理カウンセラーでも弁護士でも、さらには神でもない磯丸がすべての願い事を解決できるはずはありません。「なぜ歌を詠むのか」という問いに、磯丸は「私を一方ならず信じてくれる人々の気休めになるように頓智（とんち）で詠んでやるのでございます」とひょうひょうと答えています。気休めにすぎないとわかっているにも関わらず磯丸は歌を詠み続けます。人々は、その姿に感動し、ますます人々は親しみと尊敬の念を強めていったのです。

肩肘を張らず、純粋に人々に応える磯丸。人々の心に多くのやすらぎと笑顔を与えました。この不思議な逸人、磯丸こそふるさとの偉人だと思うのです。しかし、磯丸にとってはこう思われることこそ不本意なのかもしれません。

福の神が来るように頼まれた歌に**足ることを　知ればその身がふくの神　足ることを知れたることを知れ**というものがあります。いろんな欲にあふれた今の世に響きます。

（増山）

今月の「表紙」

▼夜になると、市内のあちらこちらで鮮やかに輝くイルミネーションを見かけます。師走を迎え肌寒い日々の中で、その輝きからは時折ぬくもりを感じます。澄んだ日の夜空と同じで、小さな星でもそれらが集まれば満天の星空に変わります。市内では、将来を担う子どもたちが、星空に負けないほど輝きながら元気な姿を見せてくれています。（I）

【表紙の写真】はなとき通り

広報たはら Tahara
No.752 平成25年12月15日号
●編集・発行／田原市役所政策推進部広報秘書課
●電話／0531-22-1111（代表）
●Eメール／koho@city.tahara.aichi.jp

本誌は再生紙を使用しています。